

## “作業療法フェスタ inぐんま 2010”の報告

2010年8月21日(土)に、群馬県作業療法士会広報部主催の「作業療法フェスタ inぐんま2010」をイオンモール高崎にて開催いたしました。

「作業療法」という職業は、医療・保健・福祉業界の中で非常に重要な役割をこなす職業の一つですが、全ての人に直接的に関わる仕事ではありません。また、その活躍の場や仕事内容も非常に幅が広いので、一般の方々の知名度が低いのが現状です。しかし、現在少子高齢化社会が進み、ますます医療や福祉の充実を図ることが重要になってきており、作業療法士に対する社会の期待増えています。その為、優秀な若い人材の確保と育成も非常に重要な課題です。



そこで、群馬県作業療法士会広報部は今までの広報活動とは少し異なる、イベント型広報活動に取り組みました。それが今回開催した「作業療法フェスタ inぐんま 2010」です。約 30 名の若くてエネルギーのある広報部員が、熱心に作業療法の広報活動を行いました。

具体的には、イオンホールにて子どものおもちゃ体験コーナー（発達障害のリハビリ）、作業療法の活動紹介、作業療法体験、高齢者体験、ミニ講座（認知症予防、腰痛・膝痛予防、作業療法士のお仕事紹介など各 30 分程度）を実施し、ブリッジスペースではオリジナルグッズや作業療法に関するパンフレットの配布、アンケートなどを実施しました。

当日はホール入場者数約 300 人で、ブリッジ広場ではオリジナルグッズの風船を約 800 個、うちわを約 700 個配布しました。また、今回 250 名の方にアンケート回答いただきました。今までにない方法で、幅広い年齢層の方々に広報活動をすることができたと思います。今回、アンケートに協力いただいた 250 名(男女比 1:3, 年齢 10~40 代が 90%)のうち、約 1 割が「リハビリテーション」という言葉を知らないと答えました。そして、なんと回答者の約 1/3 の人が「作業療法」という職業を“初めて聞いた”と回答しました。まだまだ広報活動に力を入れていかねばと考えさせられた結果でした...



今後も大型ショッピングモールでの広報活動などに取り組んでいきたいと思っております。その際は、是非とも皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

広報部 山口智晴

